

平成 28 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ  
機械工学インターンシップコース 4 月レポート  
「感謝と別れ」

長かった留学生活も終わりを迎えました。今月はこのプログラムの締めくくりとして成果を発表する機会が多くありました。特に大きな発表の場は、ジョブズオハイオとお世話になったニッシンブレーキでのプレゼンテーションでした。また、4月はイースター休暇があり、友人宅にホームステイをしてアメリカの文化を経験することができました。

### ニッシンブレーキでの発表

インターンシップの中で様々な仕事に携わりましたが、最初から最も力を注いできたのが加工のサイクルタイムを向上させるためのプロジェクトです。

最終プレゼンでは、「私たちの取り組みによってサイクルタイムがどのくらい減少し、その結果どれだけの経費が削減されたか」を中心に自分たちの取り組みや成果を発表しました。発表に対し、良い意見を頂き、自分たちの成長や行ってきたことに対する自信を感じることができました。

そして、ニッシンでの最終日には、お世話になった人に挨拶をし、お別れをしました。会社の方は、英語の拙い自分たちに、いつも親身になって優しく教えてくれ、不安な時にキャンディーをくれて励まし、助けてくれました。別れは寂しいですが、感謝の言葉を真剣に伝えることができました。



記念撮影

## Farewell party

Farewell partyとは送別会のことで、留学生の自分たちにとっては卒業式のようなものです。パーティーではフィンドレーを去る人たちが一年を振り返り、それぞれの伝えたいことをみんなの前でプレゼンしました。私はこれまでに経験したことや学んだこと、そして感謝の言葉を伝えました。この一年の辛かったこと、楽しかったことなど様々なことが思い出され、改めてフィンドレーで良い時間を過ごせたことを実感しました



Farewell Party での集合写真